議会だより

横中校舎の防音など 当初予算で計上

三月定例会で新年度予算ならびに、五十一年度の補正予算や条例の一部改正などが行われました。その主なものは次のとおりです。

▽特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償を改正

町長の諮問機関の委員に対する報酬が三千円から三千三百円に引き上げられました。その他、各委員会等の報酬が次のとおり改正されました。◇選挙管理委員会委員長一六、五〇〇円（月額）委員一四、一〇〇円（月額）◇教育委員会委員長一六、五〇〇円（月額）委員一四、一〇〇円（月額）農業委員会会長一八、〇〇〇円（月額）委員一五、〇〇〇円（月額）◇監査委員・知識経験委員一六、五〇〇円（月額）議会選出委員一四、一〇〇円（月額）◇固定資産評価審査委員三、八〇〇円（日額）◇投票管理者四、五〇〇円（日額）◇開票管理者四、五〇〇円（日額）◇選挙長四、五〇〇円（日額）◇投票立合人三、五〇〇円（日額）◇開票立合人三、五〇〇円（日額）◇選挙立合人三、五〇〇円（日額）◇町医五六、〇〇〇円（年額）◇校医五六、〇〇〇円（年額）◇歯科校医五六、〇〇〇円（年額）◇学校薬剤師一二、〇〇〇円（年額）◇特別総務員二一、〇〇〇円（年額）◇地区総務員・年額基本報酬担当戸数五〇戸未満一一、〇〇〇円、同五〇戸以上一三、〇〇〇円及び担当戸数一戸につき一、〇〇〇円、◇納税組合長・年額基本報酬担当戸数四〇戸未満一一、〇〇〇円、同四〇戸以上一三、〇〇〇円及び組合内納税義務者一人につき五〇〇円。

表彰

三月三十一日付で退職した押尾光雄氏（税務課長）は、三十年の永きに亘り住民の公僕として、職務に精励され町政振興に尽された功績により町長から表彰状と記念品が贈られました。

住民票など 百円に値上げ

町の発行する諸証明や公簿・公文書等の閲らん手数料などの額が次のように改正されました。

証明＝一件につき百円（七十円）公簿・公文書の謄本・抄本・図面の謄写・閲らん又は照合並びに住民票及び戸籍附票の謄本・抄本又は記載事項についての謄写は一件につき百円（七十円）。

住民票の閲らんについては、二十世帯を一件として、二十世帯を超えるときは二十世帯を増すごとに五十円（三十円）が加算されます。また、土地の証明・謄写・閲らんについては十筆、建物は一構を一件とし、土地については十筆を超えるときは十筆まで増すごとに五十円（三十円）が加算されます。

▽横芝町消防団条例の一部を改正する条例制定

消防団員に支給する給与の額が次のように定められました。

◇団長七万円、◇副団長五万円◇分団長三万五千円、◇副分団長二万五千円、◇部長二万円、◇副部長一万四千円、◇班長八千円、◇団員六千円。

▽国民年金印紙購入基金の設置・管理及び処分に関する条例の一部を改正する条例制定

国民年金印紙の前買のために準備されている印紙購入基金の額が年金保険料の引上げに伴って不足するため現行の二百万円を三百万円に引上げるもの。

▽横芝町交通遺児に手当を支給する条例の一部を改正する条例制定

交通遺児を養育する者に対して支給され交通遺児手当の額が三千円から五千円に引上げられました。

公民館使用料改正

公民館維持費の増加に伴って、四十七年から据置いてきた使用料が次表のとおり改正されました。

施設の名称 ＼ 時間区分	午前八時三十分から午後五時まで 一時間につき	午後五時から午後九時まで 一時間につき
第二会議室	一五〇円	一八〇円
学習室	一五〇円	一八〇円
視聴覚室	一五〇円	一八〇円
第一和室	一五〇円	一八〇円
第二和室	一五〇円	一八〇円
調理実習室	三〇〇円	三六〇円
講堂	五〇〇円	六〇〇円

▽昭和五十一年度横芝町一般会計補正予算の議定について

歳入歳出にそれぞれ八千三百八十八万七千円を追加し、総額十二億二千九百六十七万二千円とするもので、町税・地方交付税等を主な財源として、財政調整基金積立金、山武郡市広域水道企業団負担金（消火栓等）栗山地先の分譲地買戻し経費等本年度最後の所要経費の追加更正が行われました。

▽五十二年度横芝町一般会計予算の議定について

新年度の一般会計予算は総額で十七億五千万円となり、前年当初と比べ七億六千八百七十万円の増加となりました。

この中で今年度の主な建設事業は、横芝中学校校舎防音改造改築及び増築事業（三億一千八百五十八万五千円）、横芝小学校校舎防音改造事業（二億三百八十四万五千円）、町道舗装事業（四千百四十万円）、学校給食センター浄化槽設備事業（二千万円）、消防施設整備事業（五百三十万円）、青年館建設事業（五百万円）、排水整備事業（二百四十万円）、役場書庫建設事業（一千二百万円）

▽昭和五十二年度横芝町国民健康保険特別会計予算議定について

国保会計予算の八十四％を占める療養費について、年度内一回の改正を想定し、十％程度増額、これによる歳入財源は、国・県補助金の増加の外、税収面の自然増分が見込まれており、予算総額では前年を三千万円上まわり三億六千三百万円となっております。

自衛官募集
陸 海 空
国をささえる若い力
詳細は役場総務課まで